

日常検査

基準範囲の出典記載について：共用基準範囲を(共)、試薬添付書を(添)、メーカー推奨を(メ)、臨床検査法提要第35版(金原出版)を(提)、参考書籍を(書)と記載します。

a) 生化学検査

項目名称	項目略称	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲出典	容器番号	材料
総蛋白	TP	ビューレット法	6.6~8.1	g/dL	(共)		
アルブミン	ALB	BCP 改良法	4.1~5.1	g/dL	(共)		
アルブミン、グロブリン比	A/G	TP・ALB より算出	1.32~2.23				
尿素窒素	BUN	Urease-GLDH 法	8~20	mg/dL	(共)		
クレアチニン	CRE	酵素法	M: 0.65~1.07 F: 0.46~0.79	mg/dL	(共)		
推算糸球体濾過量	eGFR	血清クレアチニン、年齢、性別から計算					
尿酸	UA	Uricase-POD 法	M: 3.7~7.8 F: 2.6~5.5	mg/dL	(共)	01	血清
ナトリウム	Na	イオン選択電極法 (希釈法)	138~145	mmol/L	(共)		
カリウム	K		3.6~4.8	mmol/L	(共)		
クロール	Cl		101~108	mmol/L	(共)		
カルシウム	Ca	酵素法	8.8~10.1	mg/dL	(共)		
無機リン	IP	酵素法	2.7~4.6	mg/dL	(共)		
グルコース	GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH 法	73~109	mg/dL	(共)		
中性脂肪	TG	酵素比色法(グリセロル消去法)	M: 40~234 F: 30~117	mg/dL	(共)		

総コレステロール	TC	酵素法(コレステロール酸化酵素法)	142~248	mg/dL	(共)		
HDL-コレステロール	HDL-C	直接法	M: 38~90 F: 48~103	mg/dL	(共)		
LDL-コレステロール	LDL-C	直接法	65~163	mg/dL	(共)		
総ビリルビン	TB	酵素法	0.4~1.5	mg/dL	(共)		
直接ビリルビン	DB	酵素法	0.05~0.3	mg/dL	(添) *1		
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	JSCL 標準化対応法	13~30	U/L	(共)		
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	JSCL 標準化対応法	M: 10~42 F: 7~23	U/L	(共)		
乳酸脱水素酵素	LD	IFCC 標準化対応法	124~222	U/L	(共)		
アルカリホスファターゼ	ALP	IFCC 標準化対応法	38~113 (注1)	U/L	(共)		
γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	γ-GT	JSCL 標準化対応法	M: 13~64 F: 9~32	U/L	(共)		
コリンエステラーゼ	ChE	JSCL 標準化対応法 (p-ヒドロキシベンゾイルコリン基質)	M: 240~486 F: 201~421	U/L	(共)		
アミラーゼ	AMY	JSCL 標準化対応法 (G7-pNP 基質法)	44~132	U/L	(共)		
クレアチンホスホキナーゼ	CK	JSCL 標準化対応法	M: 59~248 F: 41~153	U/L	(共)		
CK-MB	CK-MB	免疫阻害法	0~6	U/L	(提)		
ロイシンアミノペプチダーゼ	LAP	L-ロイシン-p-ニトロアニリド基質法	30~70	mU/mL	(添) *3		
鉄	Fe	直接比色法 (Nitroso-PSAP法)	40~188	μg/dL	(共)		
不飽和鉄結合能	UIBC	直接比色法 (Nitroso-PSAP法)	M: 170~250 F: 180~270	μg/dL	(提)		
総鉄結合能	TIBC	Fe・UIBC より算出	M: 253~365	μg/dL	(提)		

			F: 246~410				
トランスフェリン飽和率	TSAT	Fe・UIBC より算出					
血清浸透圧	OSM	氷点降下法	275~290	mOS M/kg	(提)		
マグネシウム	Mg	グルコキナーゼ酵素法	1.8~2.4	mg/dL	(添) *4		
リパーゼ	LIP	酵素法(モノグリセリドリパーゼ・カラーレート法)	5.0~33.0	U/L	(メ) *1		
アンモニア	NH ₃	微量拡散法(プロモフェノールブルー)	12~66	μg/dL	(添) *7	05	全血 (ヘパリン加)
血糖	GLU	GOD 固定化酵素法	73~109	mg/dL	(共)	06	血漿 (NaF加)
蛋白分画	A/G 比	アガロースゲル電気泳動法	1.21~1.89	%	(添)* 7	01	血清
	ALB		54.8~65.4				
	α ₁ -G		2.3~3.8				
	α ₂ -G		5.0~8.9				
	β-G		9.0~14.6				
	γ-G		13.2~23.9				
ヘモグロビン分画	HbA _{1c}	HPLC 法	HbA _{1c} 4.9~6.0	%(NG SP)	(共)	06	全血 (NaF加)
			HbF 1.5 以下		(添) *8		

亜鉛	Zn	キレート法	80~130	μg/dL	(提)	01	血清
ICG 負荷試験						05	血漿(ヘパリン加)

注1: 20歳未満における ALP (アルカリリフォスファターゼ) の年齢別・男女別の基準範囲は以下の通りです。

年齢	男		女	
	下限値	上限値	下限値	上限値
0カ月	186	564	186	564
1カ月	179	567	179	567
2カ月	172	571	172	571
3カ月	168	567	168	567
4カ月	161	562	161	562
5カ月	154	560	154	560
6カ月	147	553	147	553
7カ月	144	546	144	546
8カ月	140	543	140	543
9カ月	138	532	138	532
10カ月	137	522	137	522
11カ月	136	508	136	508
1歳	138	469	138	451
2歳	144	438	144	403
3歳	147	420	147	396
4歳	151	420	151	403
5歳	151	420	158	420
6歳	154	431	161	438
7歳	158	438	165	455
8歳	158	455	165	473



9歳	161	490	168	490
10歳	161	508	165	508
11歳	165	525	140	508
12歳	159	525	105	483
13歳	140	507	77	438
14歳	123	473	63	392
15歳	95	420	54	315
16歳	77	368	45	256
17歳	70	298	42	200
18歳	60	231	42	151
19歳	56	175	42	130

出典: ALP、小児の臨床検査基準値ポケットガイド第2版

b) 血清検査(免疫学検査)

項目名称	項目略称	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容 器 番 号	材料
RPR 定性(定量)	RPR	免疫比濁法	(-) < 1.0	R.U.	(添) * 10		
TP 抗体定性	TP-Ab	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HBs 抗原定性	HBsAg	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HBs 抗体定性	HBsAb	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HCV 抗体	HCVAb	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	(-) < 1.0	COI	(添) * 12		
HTLV-I/II抗体	HTLV-1/2	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	< 1.0	COI	(添) * 7		
HIV 抗原/抗体	HIV Ag/Ab	CLIA 法(化学発光免疫測定法)	< 1.0	COI	(添) * 7		
HIV-1/2 抗体確認	HIV-	イムノクロマト法	陰性		(添) * 18		

01 血清

検査	1/2Ab					
リウマチ因子定量	RF	免疫比濁法	< 15	IU/mL	(添) * 13	
HBc 抗体	HBcAb	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	< 1.0	S/CO	(添) * 11	
可溶性インターロイキン-2 レセプター	sIL-2R	免疫比濁法	204～587	U/mL	(添) * 6	
血清補体値	CH50	リポソーム法	32～58	U/mL	(添) * 14	
C 反応性蛋白	CRP	ラテックス免疫比濁法	0.00～0.14	mg/dL	(共)	
免疫グロブリン IgG	IgG	免疫比濁法	861～1747	mg/dL	(共)	
免疫グロブリン IgA	IgA	免疫比濁法	93 ～393	mg/dL	(共)	
免疫グロブリン IgM	IgM	免疫比濁法	M : 33～183 F : 50～269	mg/dL	(共)	
IgE	IgE	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤232	IU/mL	(添) * 7	
補体蛋白 C3	C3	免疫比濁法	73～138	mg/dL	(共)	
補体蛋白 C4	C4	免疫比濁法	11～31	mg/dL	(共)	
トランスフェリン	Tf	免疫比濁法	190 ～ 320	mg/dL	(添) * 13	
遊離トリヨードサイロニン	FT3	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	2.30～4.30	pg/mL	(添) * 11	
遊離サイロキシン	FT4	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.90～1.70	ng/dL	(添) * 11	
甲状腺刺激ホルモン	TSH	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.50～5.00	μIU/mL	(添) * 11	
α-フェトプロテイン	AFP	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	2.00～8.78	ng/mL	(添) * 11	
癌胎児性抗原	CEA	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤5.0	ng/mL	(添) * 11	

		疫測定法)					
CA19-9	CA19-9	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤37	U/mL	(添) * 11		
扁平上皮癌関連抗原	SCC	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.6-2.3	ng/mL	(添) * 11		
前立腺特異抗原	PSA	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤3.53	ng/mL	(添) * 11		
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド	BNP	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤ 18.4	pg/mL	(添) * 11	11	血漿 (EDTA 加)
サイトケラチン 19 フラグメント	CYFRA	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤2.8	ng/mL	(添) * 7		
CA125	CA125	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤35.0	U/mL	(添) * 11		
KL-6	KL-6	免疫比濁法	105~401	U/mL	(添) * 6		
PIVKA-2	PIVKA-2	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	11.1~ 32.0	mAU/ mL	(添) * 15		
フェリチン	Fer	ラテックス免疫比濁法	M : 50~ 200 F : 12~ 60	ng/mL	(添) * 14	01	
プロラクチン	PRL	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	M : 3.5~ 19.4 F : 5.2~ 26.5	ng/mL	(添) * 11		血清
βHCG	βHCG	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	<5.0	mIU/ mL	(添) * 11		
IRI (インスリン)	IRI	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	5.0~10.0	μU/mL	(添) * 11	① (負 荷 ⑦)	
TG 抗体	TG Ab	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	<28	IU/mL	(添) * 7	①	

TPO 抗体	TPO Ab	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	<16	IU/mL	(添) * 7		
プレアルブミン (トランスサイレチン)	Pre Alb	免疫比濁法	22.0～ 40.0	mg/dL	(添) * 13		
レチノール結合蛋白	RBP	免疫比濁法	M: 2.7～ 6.0 F: 1.9～ 4.6	mg/dL	(添) * 13		
プロカルシトニン	PCT	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	<0.05	ng/mL	(添) * 9		
マトリックスマタロプロテイナーゼ-3	MMP-3	免疫比濁法	M: 36.9～ 121 F: 17.3～ 59.7	ng/mL	(添) * 6		
インタクト PTH	I-PTH	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	15～65	pg/mL	(添) * 9		
成長ホルモン	hGH	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	M: ≤ 2.47 F: 0.13～ 9.88	ng/mL	(添) * 9		
トロポニン T	TnT	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	≤0.014	ng/mL	(添) * 9		
コルチゾール	Cortisol	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	7.07～ 19.6	μg/dL	(添) * 11	01 22	血清 血漿
副腎皮質刺激ホルモン	ACTH	ECLIA 法(電気化学発光免疫測定法)	7.2～63.3	pg/mL	(添) * 9	22	血漿
エンドトキシン		比濁時間分析法	<5	pg/mL	(添) * 3		
β-D-グルカン		発色合成基質法	<11	pg/mL	(添) * 3	08	血漿(ベノヘパリン加)
尿中レジオネラ抗原	レジオネラ	イムノクロマト法	陰性				
尿中肺炎球菌莢膜抗原	肺炎球菌	イムノクロマト法	陰性			14	尿

c) 尿生化学検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容器 番号	材料
Na	イオン選択電極法 (希釈法)	125～250	mmol/day	(提)	09	尿
K		50～100	mmol/day	(提)		
Cl		70～250	mmol/day	(提)		
Ca	酵素法	100～300	mg/day	(提)		
P	酵素法	400～1000	mg/day	(添) * 16		
PRO	ピロガロールレッド法	31.2～120.0	mg/day	(添) * 3		
GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH法	130～500	mg/day	(添) * 3		
AMY	JSCC 標準化対応法 (G7-pNP 基質法)	50～500	U/L	(添) * 17		
NAG	MPT-NAG法	< 11.5	IU/L	(添) * 13		
CRE	酵素法	1000～1500	mg/day	(添) * 3		
UN	Urease-GLDH法	6500～13000	mg/day	(提)		
UA	Uricase-POD法	400～800	mg/day	(提)		
OSM	冰点降下法	50～1300	mOSM/K g	(提)		
ALB (微量アルブミン)	免疫比濁法	< 30 mg/g · Cr (随時 尿)、< 30 mg/day		(添) * 3		
IgG	免疫比濁法	<1.0 6	mg/dL	(添) * 13		

d) 脳脊髄液検査

検査項目	方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容器 番号	材料
CFP (脳髄液蛋白)	ピロガロールレッド法	8～43	mg/dL	(添) * 3	14	髄 液
GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH法	50～75	mg/dL	(提)		
Cl	イオン選択電極法 (希釈法)	120～125	mmol/L	(提)		
Na	イオン選択電極法 (希釈法)	130～150	mmol/L	(提)		
K	イオン選択電極法 (希釈法)	2.5～3.5	mmol/L	(提)		
IgG	免疫比濁法	1.63～ 3.15	mg/dL	(添) * 13		

細胞種類	検鏡			
髓液細胞数	計算盤法	5個 / μ L 以下	(提)	

出典(試薬添付書、メーカー推奨)

*1: アルフレックスファーマ株式会社	*8: 東ソー株式会社	*15: エーディア株式会社
*2: 株式会社シノテスト	*9: ロシュダ・イグノスティックス株式会社	*15: エーディア株式会社
*3: 富士フイルム和光純薬工業株式会社	*10: 極東製薬工業株式会社	*16: キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社
*4: 株式会社 LSI メディエンス	*11: アボットジャパン合同会社	*17: 株式会社セロテック
*5: 株式会社カイノス	*12: オーソクリニカルダ・イグノスティックス株式会社	*18: バイオラッドラボラトリーズ株式会社
*6: 積水メディカル株式会社	*13: ニットボーメディカル株式会社	
*7: 株式会社ヘレナ研究所	*14: デンカ株式会社	

e) 尿一般検査

検査項目	測定方法	基準範囲	備考	基準範囲 出典	容 器 番 号	材料
尿 一 般	白血球 テラーゼ活性 測定法	(-)	・入院患者検体はスピッツ に 10mL 入れ提出してください。 ・外来患者分は患者本人が 中央採血室の採血・採尿自 動受付機で受付後、採尿カ ップをとり採尿室で採取 後、専用の提出口に出して ください。 提出場所：外来棟尿一般検 査室	(書)*1	10	尿
	亜硝酸塩 グリース法	(-)				
	ウロビリノーゲン アプカップリ ング法	(±)				
	蛋白 pH 指示薬の 蛋白誤差法	(-)				
	pH pH 指示薬法	4.8~8.0				
	潜血 ヘモグロビン (Hb) のペル オキシダーゼ 様作用	(-)				
	比重 屈折計法 試験紙法	1.006~1.030				



	ケトン体	アルカリニトロブルシド法	(一)				
	ビリルビン	アゾカップリング法	(一)				
	ブドウ糖	酵素 (GOD, POD法)	(一)				
	尿沈査	フローサイトメトリー法 鏡検法					
便潜血検査			(一)	・OC-ヘモキヤッチ栄研容器で採取後、外来棟尿一般検査室に提出して下さい。		(書)*2	15 便

出典 (書)*1: 最新尿検査その知識と病態の考え方第3版 メディカルジャーナル社

2021年

(書)*2: 一般検査技術教本 丸善出版株式会社 平成29年3月31日発行

f) 血液検査

検査項目	測定方法	基準範囲	基準範囲出典	容器番号	材料
白血球	フローサイトメトリー法	3.3~8.6 ×10 ³ /µL	(共)		
赤血球	シースフローDC検出法	M: 4.35~5.55 ×10 ⁶ /µL F: 3.86~4.92 ×10 ⁶ /µL	(共)		
ヘモグロビン	SLS-ヘモグロビン法	M: 13.7~16.8 g/dL F: 11.6~14.8 g/dL	(共)	03	全血 (EDTA 加)
ヘマトクリット	シースフローDC検出法	M: 40.7~50.1 % F: 35.1~44.4 %	(共)		
平均赤血球容積	フローサイトメトリー法	83.6~98.2 fL	(共)		
平均赤血球血色素量		27.5~33.2 pg	(共)		
平均赤血球血色素濃度		31.7~35.3 g/dL	(共)		
血小板	シースフロー	158 ~ 348 ×10 ³ /µL	(共)		

DC 検出法					
白血球分類	機械法	分葉核 好中球	37.0~72.0 %	(エ)	
		リンパ 球	20.0~50.0 %		
		単球	4.1~10.6 %		
		好酸球	0.6~8.3 %		
		好塩基 球	0.0~1.3 %		
	目視法	桿状核 球	0.5~6.5%	(提)	
		分葉核 球	38.0~74.0%		
		リンパ 球	16.5~49.5%		
		単球	2.0~10.0%		
		好酸球	0.0~8.5%		
	機械法(絶対数)	好中球 (絶対 数)	$1.500\sim7.500\times10^3/\mu\text{L}$	(提)	
		リンパ 球(絶 対数)	$1.000\sim4.000\times10^3/\mu\text{L}$		
		単球 (絶対 数)	$<0.800\times10^3/\mu\text{L}$		
		好酸球 (絶対 数)	$<0.500\times10^3/\mu\text{L}$		
		好塩基 球(絶 対数)	$<0.05\times10^3/\mu\text{L}$		
網赤血球	フローサイトメ	0.5~2.5%		(提)	

	トリー法				
ペルオキシダーゼ (PO) 染色	DAB 法				血液／骨髓穿刺液
アルカリフォスファターゼ (ALP) 染色	朝長法	NAP スコア : 170~330	(エ)		血液
2重エステラーゼ (2ES) 染色	L i 法				血液／骨髓穿刺液
鉄 (Fe) 染色	ベルリン青法				骨髓穿刺液
酸フォスファターゼ (ACP) 染色	fast garnet GBC 法				全血 (クエン酸Na加)
赤血球沈降速度	ウェスタークレーン準拠法	M : 2~10 mm/1 時間 F : 3~15 mm/1 時間	(提)	12	

出典 (共) : 共用基準範囲

(提) : 臨床検査法提要第35版 金原出版

(エ) : エビデンスに基づく検査診断実践マニュアル第1版 2011

g) 凝固検査

検査項目	測定方法	基準範囲	基準範囲出典	容器番号	材料
FDP	ラテックス凝集法	<5µg/mL	(提)	04	血漿 (クエン酸Na加)
D ダイマー	ラテックス凝集法	<1µg/mL			
プロトロンビン時間	凝固時間法	11.4 ~ 14.0 秒	(提)	04	血漿 (クエン酸Na加)
		80~100 %			
		INR 1.00	(添)		
APTT	合成基質法	22.5~37.5 秒	(提)		
フィブリノーゲン		200 ~ 400 mg/dL			
アンチトロンビンIII定量		80 ~ 130%			
プラスミノゲン定量		80 ~ 130%			
アンチプラスミン		80 ~ 130%			
TAT トロンビン・アンチトロンビンIII複合体	CLEIA 法	4ng/mL 未満			



血小板粘着能	Salzman 改良法	30 ~ 70%		03	全血 (EDTA加)
血小板凝集能	光透過法(比濁法)	最大凝集率 50 %以上		04	血漿(クエン酸Na加)
赤血球抵抗試験	ペーパート法	報告書参照		05	全血(ヘパリンNa加)
クロスミキシング試験(APTT)	凝固時間法	報告書参照		04	血漿(クエン酸Na加)

出典 (提) : 臨床検査法提要第35版 金原出版

(添) : 試薬添付書メーカー推奨 積水メディカル株式会社

h) 細胞性免疫・骨髄検査

検査項目	測定方法	基準範囲	基準範囲出典	備考	容器番号	材料			
細胞表面マーカー	T細胞・B細胞百分率	CD3 : 58.0 ~ 84.0%	(提)	05	血液／骨髓穿刺液(ヘパリン加)				
		CD19 : 5.0 ~ 24.0%							
		CD4 : 25.0 ~ 56.0%	(書)						
		CD8 : 17.0 ~ 44.0%							
		CD4/CD8 : 0.6 ~ 2.9%							
	B細胞表面免疫グロブリン	CD3 : 58.0 ~ 84.0%	(提)						
		CD19 : 5.0 ~ 24.0%							
		CD20: 3.0 ~ 20.0%							
		B細胞表面 IgG: 1.0 ~ 3.0%							
		B細胞表面 IgA: 1.0 ~ 3.0%							
		B細胞表面 IgM: 3.0 ~ 12.0%							
		B細胞表面 IgD: 1.0 ~ 10.0%							
		B細胞表面 Ig κ : 3.0 ~ 8.0%							
		B細胞表面 Ig λ : 1.0 ~ 5.0%							
		< 0.01 %	(提)						
	CCR4 タンパク	別紙報告			注1 を参照				



骨髄穿刺検査						各種容器	骨髓穿刺液
--------	--	--	--	--	--	------	-------

出典 (書) : 日本検査血液学会編 : スタンダード検査血液学第4版

(提) : 臨床検査法提要 第35版 (金原出版)

[注意事項]

注1: この項目は難治性ATL患者または、ATL再発の患者のみを対象としています。

i) 血液ガス検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器番号	材料
pH	電位差測定法	7.35~7.45			
PCO ₂	電位差測定法	M: 30~48 F: 27~39	mmHg		
PO ₂	電流測定法	83~108	mmHg		
HCO ₃ ⁻	演算	21.2~28.3	mmol/L		
BE	演算	-2~3	mmol/L		
ctHb	吸光度測定法	M: 14.0~17.5 F: 12.3~15.3	g/dL		
Hct	演算	M: 42~52 F: 37~48	%		
sO ₂	吸光度測定法	95~99	%		
O ₂ Hb	吸光度測定法	94~98	%		
COHb	吸光度測定法	0.5~1.5	%		
MetHb	吸光度測定法	0.0~1.5	%		
FHHb	吸光度測定法	0.0~0.5	%		
ctO ₂	演算	8.4~9.9	Vol%		
ctCO ₂	演算	M: 23.3~29.7 F: 22.3~28.4	mmol/L		
K ⁺	電位差測定法	3.4~4.5	mmol/L		
Na ⁺	電位差測定法	136~146	mmol/L		
Cl ⁻	電位差測定法	98~106	mmol/L		
Ca ²⁺	電位差測定法	1.15~1.29	mmol/L		
AnGap(+K ⁺)	演算	10~20	mmol/L		

13 全血

Glu	電流測定法	70~105	mg/dL		
Lac ※	電流測定法	4.5~14.4	mg/dL		
		0.5~1.6	mmol/L		

出典 : メーカー推奨(ラジオメーター社)

[注意事項]

※ ラクテートは mmol/L の結果も併記致しますが、mg/dL の結果からの換算式による報告となります。mg/dL → mmol/L に伴い、mmol/L 値は見かけ上約 1/9 倍となります。

j) 細菌検査

項目	備考	容器番号	材料
一般細菌	塗抹顕微鏡検査は、当日中に結果を報告します。 同定検査 : MALDI バイオタイパーを用いた質量分析法による同定 血液培養検査は、菌検出の都度主治医に電話連絡します。 なお、陰性報告は 1 週間以上を要します。	各種専用容器 14、30~35	尿、喀痰、膿(開放、閉塞)、便、髄液、血液、組織、その他
抗酸菌	塗抹顕微鏡検査は、当日中に結果を報告します。 培養が陽性になった場合は、その都度連絡します。 なお、陰性報告は 8 週間を要します。		
薬剤感受性検査 (一般細菌・酵母様真菌)	カテゴリー(S,I,R)は、CLSI の基準に基づいて表示してあります。 なお、カテゴリー設定が無いものは未表示になります。		
質量分析法による抗酸菌同定	原理 : MALDI バイオタイパーを用いた質量分析法による抗酸菌同定	該当なし	培養菌
CD トキシン	原理 : イムノクロマト法	基準範囲 (陰性)	34 粪便

k) 新型コロナウィルス抗原定量(ルミパルス)検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容器番号	材料
SARS コロナウィルス 抗原 (新型コロナ抗原検査)	CLEIA 法 (化学発光酵素免疫測定法)	唾液 : (-) <0.67 鼻咽頭ぬぐい液 : (-) <1.00	pg/mL	(添)	唾液 : 34 鼻咽頭ぬぐい液 : 専用採取セット	唾液 鼻咽頭ぬぐい

							ぐい 液
--	--	--	--	--	--	--	---------

出典 (添) : 添付文書 ルミパルス SARS-CoV-2Ag 富士レビオ株式会社

1) 遺伝子検査

(a) 抗酸菌遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
結核菌-PCR	PCR 法	検出菌種 <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	滅菌スピツ(14)、滅菌シャーレ(31)、PPスクリューコップ(34)、EDTA入り紫キャップ試験管(03)等。	喀痰、 気管支洗浄液、 その他
MAC-PCR	PCR 法	検出菌種 <i>Mycobacterium avium</i> <i>Mycobacterium intracellulare</i>	滅菌容器であれば各診療科で採取しやすい容器で可(ヘパリン不可)。	

(b) CD トキシン遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
CD トキシン遺伝子	PCR 法	検出遺伝子 <i>Clostridiooides difficile</i> トキシン B (tcdB) 遺伝子		

(c) ブドウ球菌メチシリノ耐性遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
ブドウ球菌メチシリノ耐性遺伝子	PCR 法	検出遺伝子 <i>mecA</i> 、 <i>SCCmec</i>		

[注意事項]

※ 血液培養陽性検体で *Staphylococcus aureus* が検出された際に実施する。

(d) 多項目遺伝子検査(FilmArray)

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
微生物核酸同定検査(呼吸器)	PCR 法	検出遺伝子 <i>Adenovirus</i> <i>Cornavirus 229E</i>	35	鼻咽頭ぬぐい

		Cornavirus HKU1 Cornavirus NL63 Cornavirus OC43 SARS-CoV-2 Human Rhinovirus/Enterovirus Influenza A Influenza B Parainfluenza Virus1 Parainfluenza Virus2 Parainfluenza Virus3 Parainfluenza Virus4 RS Virus <i>Bordetella paraperutussis</i> <i>Bordetella perutussis</i> <i>Chlamydia pneumoniae</i> <i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
微生物核酸同定検査(髄膜炎・脳炎)	PCR 法	検出遺伝子 <i>Escherichia coli</i> K 1 <i>Haemophilus influenza</i> <i>Listeria monocytogenes</i> <i>Neisseria miningitidis</i> <i>Streptococcus agalactiae</i> <i>Streptococcus pneumoniae</i> サイトメガロウイルス エンテロウイルス 単純ヘルペスウイルス 1 単純ヘルペスウイルス 2 単純ヘルペスウイルス 6 ヒトパレコウイルス 水上帶状疱疹ウイルス <i>Cryptococcus neoformans/gatii</i>	14	髄液

(e)造血器腫瘍核酸増幅検査

検査項目	測定方法	参考値	容器番号	材料	採血量
------	------	-----	------	----	-----

Major bcr-abl mRNA	RT nested-PCR 法	(-)	16 専用容器(青黒)	全血、骨髓液	4mL
minor bcr-abl mRNA					
AML1-MTG8 mRNA					
PML-RAR α mRNA					

m) 生理検査

検査項目	測定方法	基準範囲及び臨床判断値	備考	出典
心電図	四肢単極誘導及び胸部誘導を含む12誘導	・P波：幅0.06～0.10sec 高さ0.05～0.25mV ・HR(RR間隔)：(安静時)50～100/min ・PR時間：0.12～0.20sec ・QRS時間： \leq 0.10sec ・QRS電気軸： -30° ～ $+110^\circ$ ・QT時間：0.36～0.44sec(成人) ※QTc：0.35～0.44sec		(書)* 1 (書)* 2
長時間記録心電図 (Holter心電図)	双極誘導法	『記録条件』 紙送り速度：25mm/sec 感度：1mV=10mm		
運動負荷心電図 (トレッドミル) (マスター)	Mason-Likar法	『記録条件』 紙送り速度：25mm/sec 感度：1mV=10mm		
脳波	10-20法	異常脳波を認めないこと。 『異常脳波の例』 【てんかん】 棘波、鋭波、棘徐波複合などの突発性異常波が出現する。 【脳炎】 急性期には徐波がみられ、徐々に改善する。 【器質性障害】 脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷による脳機能障害により徐波化を示す。 【意識障害】 程度に応じて徐波化が起こる。 【脳死】 全誘導で平坦化する。		(書)* 2



血圧脈波		<p>【ABI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正常値 : 0.91~1.40 (0.91~0.99)境界域 末梢動脈疾患(PAD)と判断 : ≤ 0.9 <p>【baPWV】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中等度リスク (Framinghamリスクスコア) 生活習慣改善が推奨される血管リスクレベル : 1400/s 心血管事象発症リスクレベル : 1800/s <p>【CAVI】</p> <p>『CAVI予測式』</p> <p>男性 : CAVI = 5.43 + 0.053 × 年齢 女性 : CAVI = 5.34 + 0.049 × 年齢</p>	(書)* 3 (書)* 4
FMD 検査 (血管内皮機能検査)		7%以上 : 正常値 4~7% : 境界域 4%未満 : 血管内皮機能障害疑い	(注2) (メ)
24時間血圧測定		<p>高血圧基準 : (収縮期血圧／拡張期血圧)</p> <p>診察室血圧 : $\geq 140/90$ mmHg</p> <p>家庭血圧 : $\geq 135/85$ mmHg</p> <p>自由行動下血圧</p> <p>24時間 : $\geq 130/80$ mmHg</p> <p>昼間 : $\geq 135/85$ mmHg</p> <p>夜間 : $\geq 120/70$ mmHg</p>	(注1) (書)* 5
肺機能	気量型	<p>VC : 予測値の 80%以上</p> <p>FEV1.0 : 予測値の 80%以上</p> <p>FEV1.0%G : 予測値の 70%以上</p> <p>AT : 5%以下</p> <p>V50/V25 : 3.0 以下</p>	(書)* 6 (書)* 7 (書)* 8
精密肺機能	FRC : He ガス希釈・恒量式閉鎖回路法 DLCO : 1回呼吸	<p>DLCO : 予測値の 80%以上</p> <p>DLCO/VA : 予測値の 80%以上</p> <p>$\triangle N2$: (18~38 歳) $0.7 \pm 0.3\%$ (50~77 歳) $1.8 \pm 1.1\%$</p>	(注1) 8

	法 CV：単一呼吸による窒素洗い出し法			
肺機能可逆試験	気量型	改善量 $\geq 200\text{mL}$ かつ改善率 $\geq 12\%$		
基礎代謝	気量型	BMR： $\pm 15\%$ 以内		
新生児聴力検査		Pass	(注3)	

[注意事項]

(注1)：精密肺機能検査は食後2時間以上経過、検査4時間前から禁酒、検査24時間前から禁煙を指示してください。

(注2)：食後10時間以上経過していない方は検査できません。水分は水のみ可です。血液抗凝固作用のある薬を服用されている場合、あるいは病状や体質などにより、腕を圧迫したときに皮下出血を起こし一過性の斑が出ることがあります。

(注3)：検査対象となる新生児は生後6ヶ月まで、退院できる健康状態であり、出生時に奇形がないことが検査条件です。

《基準範囲及び臨床判断値の出典》

(書)*1：社団法人日本臨床衛生検査技師会 編：認定心電技師のための心電図の読み方 東広社、2009年

(書)*2：東條尚子ほか著： 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第1版、医歯薬出版株式会社、2017年

(書)*3：折茂肇：新しい動脈硬化指標 CAVI のすべて 初版、日経メディカル開発、2009年

(書)*4：[ダイジェスト版] 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン JCS、2013年

(書)*5：24時間血圧計の使用 (ABPM) 基準に関するガイドライン、2010年

(書)*6：安倍紀一郎 他：関連図で理解する 呼吸機能学と呼吸器疾患のしくみ 第1版、日総研出版

(書)*7：社団法人日本臨床衛生検査技師会：呼吸機能検査の実際 第1版、株式会社高山、2005年

(書)*8：日本呼吸器学会 肺生理専門委員会 呼吸機能検査ハンドブック

(メ)：株式会社ユネクス

曜日及び時間帯指定検査項目

	午前 (8:30~12:00)	午後 (13:00~17:00)
月	負荷心電図 (外来)	負荷心電図 (入院)
火	負荷心電図 (外来)	負荷心電図 (入院)、新生児聴力検査
	精密肺機能	精密肺機能
水	負荷心電図 (外来)	負荷心電図 (入院)
木	負荷心電図 (外来)	負荷心電図 (入院)、新生児聴力検査
	精密肺機能	精密肺機能
金	負荷心電図 (外来)	負荷心電図 (入院)、新生児聴力検査
	精密肺機能、基礎代謝 ※1	精密肺機能

※1: 基礎代謝は8時30分より開始しますので、前日及び当日の条件を確認しておいて下さい。

検査所要時間

※検査が混み合う時間帯は結果報告が遅くなることもあります。

(1) 生化学検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
生化学検査 (下記の検査以外)	1時間	ICG	2時間
蛋白分画	3業務日	アンモニア	30分
HbA1c、血糖	30分		

(2) 血清検査 (免疫学検査)

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
血清検査 (下記の検査以外)	1.5時間	エンドトキシン β-D-グルカン	3時間
		尿中レジオネラ抗原 尿中肺炎球菌莢膜抗原	1時間

(3) 一般検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
尿定性	30分	便潜血	外来: 15分 入院: 当日
尿沈渣	3時間30分		

※外来検体を優先します。

(4) 尿生化学検査

検査項目	所要時間
尿生化学検査	1時間

(5) 血液検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
血球計数 血液像(機械法)	30分	ペルオキシダーゼ染色 アルカリリフォスファターゼ染色 エステラーゼ染色 鉄染色 酸フォスファターゼ染色	2業務日
細胞表面抗原検査	6時間	骨髄穿刺検査※	5業務日
赤血球沈降速度	3時間	凝固・線溶検査	1時間
赤血球抵抗試験	2業務日	血液ガス	30分

※骨髄のマイギムザ染色標本とペルオキシダーゼ染色標本については、検査当日に標本各1枚ずつ供覧できるように染色を実施いたします。

(6) 細菌検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
一般細菌 (塗抹・顕微鏡検査)	6時間	抗酸菌 (塗抹・顕微鏡検査)	当日
一般細菌 (培養・同定)	3業務日	抗酸菌 (培養検査)	8週間※
一般細菌 (薬剤感受性検査)	4業務日	質量分析法による抗酸菌同定	1業務日
酵母様真菌 (薬剤感受性検査)	8業務日		
CDトキシン	2時間		

※培養陽性時はその都度報告します。

(7)新型コロナウィルス抗原定量(ルミパルス)検査

検査項目	所要時間
SARSコロナウィルス抗原(新型コロナ抗原検査)	1~2時間

(8) 遺伝子検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
結核菌群遺伝子検査 結核菌-PCR MAC-PCR	1~2業務日	造血器腫瘍核酸増幅検査 Major bcr-abl mRNA minor bcr-abl mRNA AML1-MTG8 mRNA PML-RAR α mRNA	2業務日
CDトキシン遺伝子検査	2時間	ブドウ球菌メチシリソ耐性遺伝子検査	2時間
微生物核酸同定検査	2時間30分		

(9) 生理検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
心電図	30分(小児は省く)	24時間血圧測定	2業務日
長時間記録心電図	3業務日	負荷心電図	2時間
脳波	2時間(睡眠時が必要な場合は省く)	肺機能(可逆試験含む) 基礎代謝 血圧脈波、FMD検査	1時間
新生児聴力検査	40分		